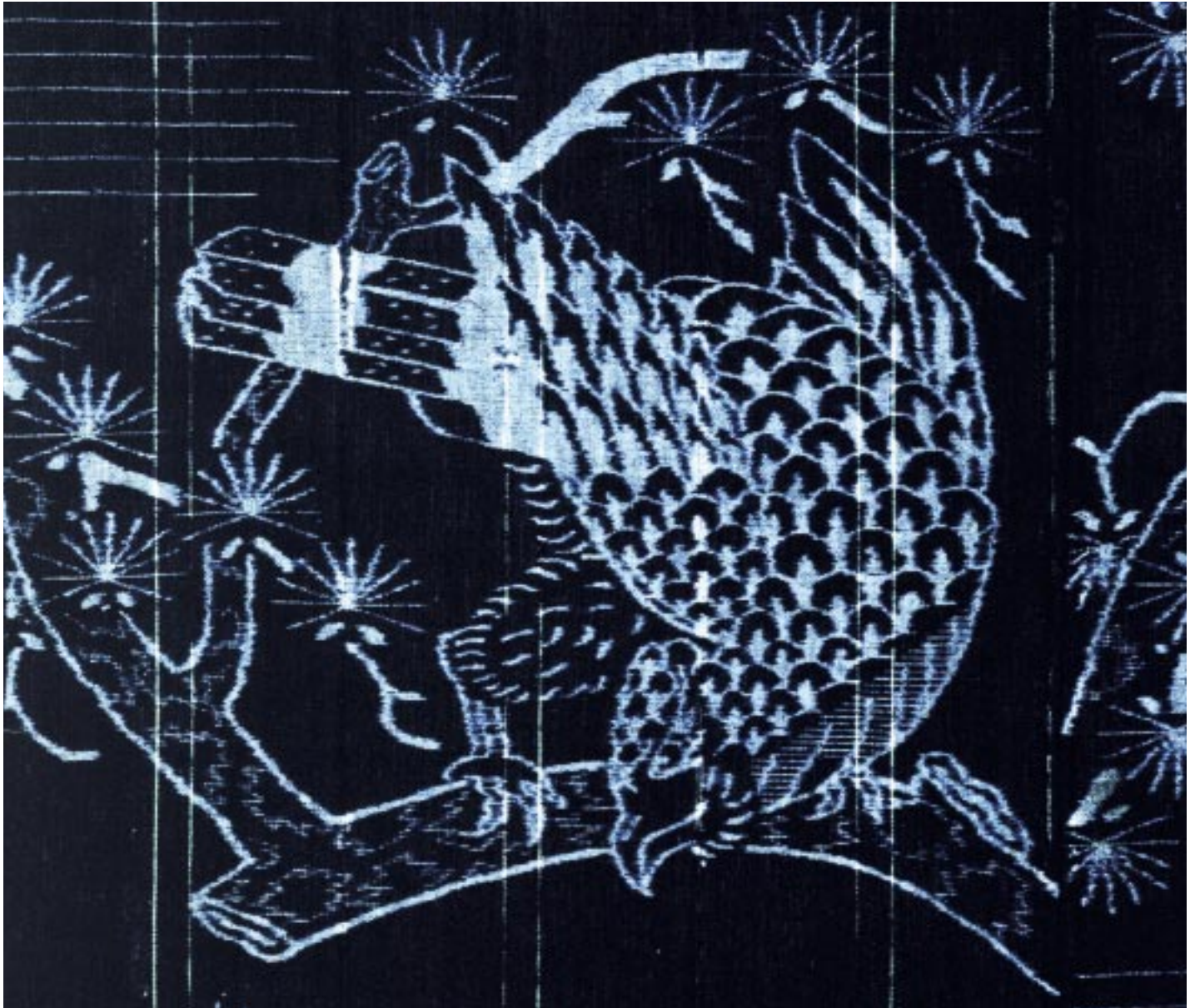


まちづくりキャッチフレーズ

あふれる笑顔 豊かな緑

交流とふれあいのまち倉吉



松鷹文 倉吉緋(かすり)

## 謹賀新年



# 2005 1・1

### 主な内容

新春によせて .....	2
倉吉市男女共同参画推進条例 .....	3
平成15年度決算	
平成16年度上半期予算執行状況 .....	4~7
指定ごみ袋の全面有料化について .....	8
倉吉市営温水プール水中運動教室 .....	9
部落解放シリーズ .....	10
インフォメーション .....	11~14
どうぞ・どうぞ/きてみてね/地区の話題...	15
健康ファイル .....	16

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちたすがすがしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

二十一世紀を迎え、少子高齢化社会の到来、地球的規模での環境問題、生活環境の変化に伴う市民ニーズの多様化、三位一体改革に象徴される国・地方を通じた厳しい財政状況など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況の中、本市におきましては、先達の築かれた歴史の重みに改めて目を向けながら、関金町との合併により誕生する新生「倉吉市」の輝かしい未来を志向していかなければなりません。

昨年を振り返りますと、最重要課題として合併を契機とした協働のまちづくり

新生「倉吉市」誕生

倉吉市長 長谷川 稔

新春に寄せて……平成十七年元旦

自立できる中部中核都市の創造を

倉吉市議会議長

山口博敬

新年明けましておめでとうございます。政治の目指すところは、国、地方を問わず、住民の安全を確保し、安心して暮らすことのできる街づくりをどう推進するかという点にあると思います。

現在、国、地方を合わせた長期債務残高は約七百二十兆円にも達しようとしている中、人口動態は少子・高齢化が今後とも基調として続くものと想定され、財政需要は増しこそすれ減ることは考えられない実態となっており、国も地方も思い切った行政改革と財政支出の削減を行い、聖域なき改革に取り組むことが必要不可欠の時代となっています。

国では、国庫補助負担金、地方交付税、

してまいりましたCATV未整備地域の解消に向けた取り組み、また一昨年に引き続き企業誘致の実現、市民との協働により実現したシビックセンターたからやと西倉吉工業団地内街路樹の植樹作業、千葉県松戸市との交流都市宣言、さらに皆様からご支援をいただいた打吹地区伝建群火災跡地の復興事業の着手、障害に対する各種相談やサービス調整を行う拠点としての障害者地域生活支援センターの設置、そして山下清展に続く博物館での原田泰治展の成功、またプロ野球名球会・OBクラブによるドリームベースボールには四千人を超える観衆で埋まるなど、魅力あるまちづくりに向けた取り組みを進めてまいりました。時代が大きく

税源移譲を含む税源配分のあり方を「三位一体」で改革し、真の地方自治の確立に向けた地方分権の実現を図ることとしております。

また、地方六団体が構成する地方自治確立対策協議会は、十一月十七日、日本武道館で全国から一万人が結集し、「地方分権推進総決起集会」を開催し、自己決定、自己責任の幅を拡大し、地方の自由度を高めて創意工夫に富んだ施策を展開することにより、住民ニーズに対応した多様で個性的な地域づくりを行い、市民が豊かさゆとりを実感できる生活を実現することができるとする地方分権型社会の推進を決議しました。さらに、地方が結束

変化する中で、様々な経験をし、次世代につながる新たな土台を築くことができたと年であったように感じております。

そして、平成十七年は、豊富な資源を持つ関金町との合併により、新生「倉吉市」が誕生する記念すべき年であります。

新たな市におきましては、恵まれた自然環境を活かし、市町がこれまで進めてきたまちづくりの方向性を互いに尊重し、地域の歴史、文化及び伝統を継承しながら、「人と自然と文化がつくる・キラリと光る新中核都市」の将来像のもと、新市建設計画による地域特性にあった様々な分野の取り組みを推進してまいります。

また、この合併を契機として、地域づくりやまちづくりビジョンを改めて市民の皆様と共有することで、本市が目指す市民との協働のまちづくりを進めてまいります。

昨今の一年という期間は、これまでの十年に相当するといわれるほど、社会環境や人々の価値観、ライフスタイルが急速に変わるうとしております。市政の運営にあたっては、情報公開制度やパブリックコメント制度、政策や事業を検証する行政評価制度といった手法を活用することも重要であると考えております。引き続き、市民の総意を結集した市民参加型の市政に努め、倉吉に住んでいることに愛着を深め、真に生きていることに充実感を実感できるまちづくりを進めてまいります。

今後とも、市民の皆様をはじめ、関係各方面の方々の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸と市政の発展を念じながら、年頭のごあいさつとさせていただきます。

した三位一体の改革実現で、地方分権の推進を目指す全国組織「地方分権推進連盟」を発足させることも決定されました。

一方、市政では、最重要課題として、関金町との枠組での合併を位置づけ、一昨年の一市四町による合併が大変残念な結果に終わったことを反省し、教訓として誠心誠意取り組み、十回の倉吉・関金合併協議会を経て合併調印にこぎつけ、いよいよ今年三月二十二日に合併し、新倉吉市が誕生することになりました。

また議会では、市民の負託に応えるため、前年に引き続き議員報酬の十パーセント削減を決定し、七月より実施しております。関金町との合併を機に、より適正額とするため、市長に対し報酬審議会の開催を要請しています。そして、一年を超えて議員活動ができない議員に対して、

報酬減額を行うための条例改正にも取り組みました。情報公開を一層推進し、市民の皆様は議会への認識を高めていただくため、本会議での議案質疑のテレビ中継試験放送の実施、倉吉市のホームページに議会議事録検索システムの設定等々、一層市民の皆様は信頼される議会を目指し、積極的に議会改革に取り組みでまいります。

今後とも、引き続き公正で開かれた議会、民主的で自立できる市政の実現に向け、鋭意努力を重ねてまいります。

この一年が、市民の皆様にとりまして健康で幸多き年になりますよう、また、本市にとって実り多き年になることを祈念しながら新年のご挨拶といたします。

# みんなで考え、みんなで決めた倉吉市男女共同参画推進条例

倉吉市男女共同参画推進条例が平成16年12月議会において全会一致で可決されました。

この条例づくりでは、「倉吉市男女共同参画推進条例をつくる会」が中心となり、全市民対象のワークショップ等を行い、様々な市民の声を反映しました。また、市・市民・事業者の三者が協働して取り組むこと、男女共同参画推進月間を設けること、倉吉市男女共同参画推進市民会議において、市の施策や重要事項を調査審議する機関として位置付ける等、倉吉市らしい、「みんなで考え・みんなで決めた・みんなの条例」となっています。

(平成17年4月1日施行)

## こんな意識、持っていますか？

### 家庭の中で

- ・男性が買い物や洗濯をすると、近所に体裁が悪い。
- ・身内の介護は、妻や娘がするのがあたりまえ。
- ・夫のことを「主人」と呼ぶのに抵抗はない。
- ・家族を養うのは男性の当然の「役目」。



### 子育ての中で

- ・ブルーの服は男の子、ピンクの服は女の子。
- ・育児は母親がするのが当然。
- ・「男の子は、泣いちゃだめ」「女の子は、しとやかに」。

### 職場の中で

- ・女性がお茶を出すのはあたりまえ。
- ・責任のある仕事は男性がすべき。
- ・育児休暇は女性が取得するもの。

男女共同参画とは、決して特別なことではありません。それぞれの個人が、個性に合わせていきいきと暮らす社会になることをめざしているのです。私たちの身近な意識改革から、男女共同参画社会実現に向けての第一歩が始まります。普段、あたりまえのように感じていることについて、改めて考えてみませんか？

家庭で、地域で、職場で、学校で、みんなが主役で、

みんなが幸せな社会 男女共同参画社会をめざしましょう

男女共同参画に関するお問い合わせは、人権政策課男女共同参画係（☎22-4891）まで

（仮称）市民参画のデザイン研究会の委員を募集します。

市では、市民にまちづくりへ参画していただき、市民と行政が役割分担をしてまちづくりを進める研究を、市民と行政が対話しながら、共通の目標として始めます。

この研究会で、市民と行政が双方の知恵を出しあい、まちづくりの方向を生み出すための仕組み、市民の自治への直接的な参画意欲を受け止め、まちづくりに活かす仕組み、市民と行政が役割分担をし、様々な市民ニーズに対応していく仕組みなど、協働型地域社会の構築へ向け市民と行政が動く仕組みを研究します。

つきましては、研究会に参加していただく委員を募集しますので、興味がある方は、是非ご応募ください。

研究の期間 半年程度を予定  
募集人数 定めなし

応募資格 市内を生活の場とし、研究会へ出席できる方、または、出席できなくても、資料等を基に意見をいただける方

応募方法 住所、氏名、電話番号を市企画課までご連絡ください。

応募期限 一月二十一日（金）  
応募・問合せ先

企画課（22・8161）